

泉大津市スポーツ施設運営委員会（第1回）

■第1回会議の議事概要

日 時：令和8年6月29日（月）午後3時～午後4時00分

場 所：市役所職員会館3階集会室

出 席：富山委員、木野委員、小池委員

竹内教育長

事務局：（教育委員会事務局）鍋谷局長、中山課長、梶川係長、西野係員

（都市づくり政策課）八木課長、中野係長、矢橋係員

（地域経済課）奥土課長補佐

指定管理者：泉大津健康づくりパートナーズ

（代表企業コナミスポーツ株式会社）石川部長、佐藤統括マネージャー、

永野支配人、樺山マネージャー

（構成企業株式会社サンアメニティ）渡邊関西事業部次長

（構成企業大林ファシリティーズ株式会社）吉良主任

会議の公開 公開

傍聴者 0名

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員長選出
- 4 泉大津市スポーツ施設事業報告及び事業報告内容の検証
 - 1）令和7年度泉大津市スポーツ施設事業報告
 - 2）事業報告内容の検証（質疑及び意見交換）
- 5 その他
- 6 閉 会

議事概要

委員長選出

スポーツ施設運営委員会規則第5条に基づき、スポーツ施設運営委員の互選の結果、委員長に富山委員長、職務代理者に木野委員が選出された。

令和7年度泉大津市スポーツ施設事業報告

- ・指定管理者の代表団体コナミスポーツ株式会社永野支配人が令和7年度泉大津市スポーツ施設事

業報告書を説明。

事業報告内容の検証（質疑及び意見交換）

【主な意見等の内容】

- 木野委員：体育館は、どれだけ人数が来ているか、利用するときに気持ち良く入館できるかが大切だと考えている。利用者数が増えていることは嬉しい。利用する人を心地よくさせてほしいと思っていて、それには事務所の雰囲気やスタッフが愛想良く心遣いができていることが必要となる。玄関にイスを設置してくれているが、ただ単に設置しているのではなく、イスを置いている理由として、靴の脱ぎ履きや高齢者のために設置してくれていて、そういった細かい心遣いを継続してできていると感じる。靴の履き間違いについて、迅速な対応をしてくれていることは、利用者が次もまた来たいと思えることに繋がっている。
- 永野支配人：気持ち良く来ていただくことは基本。挨拶はしっかり、先手必勝を「先手必笑」として心掛けています。継続的にといった点をご理解いただけて嬉しい。
- 小池委員：体組成計の設置の際に身長計の設置を要望したところ、すぐに設置してもらえたため、非常にありがたい。靴の履き間違いを防ぐため、靴箱の色分けをぱっと見て認識できるようにはっきりさせておく。線で色分けをするだけでなく、靴箱の奥の壁面まで色をつけて、記憶に残るようにしてほしい。子ども用に動物の絵柄コーナーを作るなど工夫してもらえるとありがたい。
- 永野支配人：靴箱全面ペンキ塗りは可能。下段を全部塗ることや、動物の絵柄をつけるなど工夫することは対応可能なので検討していく。
- 小池委員：11月のスポーツフェスティバルに参加されるか。
- 永野支配人：明日の実行委員会に参加する。今までにやっていないような内容やアイデアをいろいろ出していく。
- 小池委員：Kフェスティバルのランドセルの寄付イベントはどうだったか。
- 永野支配人：30個ほどのランドセルを寄付いただいたが、引き取りは2個だった。周りの目がある中でもらうことに抵抗があったのではないかと考えていて、次回行う際は、閲覧する人、取りに来る人にし、気兼ねなく持って行ってもらえるようなシステムを考えたい。反響は良かったので、継続していきたい。
- 小池委員：最近の小学生は、ランドセルに寄せ書きを書く風習がある。売却や譲ることが難しくなるため、このランドセルの取り組みを進めて、この風習を阻止してほしい。
- 富山委員長：総合型地域スポーツクラブや体育協会など、地域との連携は大切だと考えている。具体的にこれまでどのような支援や連携があり、また、今後どのようにしていくかをご教示ください。
- 永野支配人：OZUSポとの定例会には毎月参加している。11月のスポーツフェスティバルに参加し、各連盟の底辺拡大の起爆剤になる協力をし、引き続きスポーツの振興をしていきたいと考えている。

～欠席委員より～

富山委員長が代読

- ・事業収支について、収支差額がプラスの決算であったことは良いと思います。支出の総額は前年度と大差ないように思うが、指定管理料の総額が増額されたのか。

永野支配人：収入面に関しての説明として、計画差異で総合体育館の利用料収入がプラス 300 万、総合体育館の駐車場収入が料金改定により、プラス 100 万。自主事業の収入もプラス 97 万。一方、支出面では計画差異で人件費がプラス 300 万、光熱水費がマイナス 600 万から支出合計として、マイナス 500 万となっている。これら複合的な理由により、600 万の収支差額が生じた。委託料の増額によって、トレーニング室の運動機器リニューアル、人員配置の見直しなど運営改善が可能となり、その結果、総合体育館における利用料の収入およびスポーツ教室受講料の増加に繋がったと考えている。

- ・支出の維持管理費において、計画差異マイナス 1,072 万 7 千円と非常に大きいのが、この要因はなにか。

永野支配人：計画との大幅な乖離の一番の要因は、人件費の金額を維持管理費に移していた項目の違いによることがあげられる。維持管理費については、清掃業務の委託費、保守業務の委託費、屋外施設・グラウンド・プールなどの維持管理にかかる人件費および管理費を指している。夏のプールなど管理にかかる人件費の一部約 960 万を計画では、維持管理費に計上していた。令和 8 年度以降は、科目の分類の制度を高め、より実態の則した計画策定を進めていく。

- ・取り組みの中で、目標達成できなかったもの、今後改善が必要なこと、あるいは取り組みが不十分で今後さらに改善していかねばならないもの、やり残していることなどあればご教示ください。

永野支配人：令和 7 年度におけるやるべきことの計画に関しては、予定通りの進捗状況である。当初は 5 年間での達成を計画していたが、進捗状況を踏まえて、前倒しの実施を進めており、2 年目で計画完遂を目標に取り組んでいる。一部調整や検討を継続しなければならない点もあるが、現時点においては、大きな遅延や未実施の案件は発生していない。令和 8 年度においても、ナイトプール、青空ヨガ、キャッチボールなどの屋外施設イベントを含めて、具体的な施策を実施していく。アンケートの結果として、令和 7 年度のアンケート回収数は 223 件、目標 100 件の 2.2 倍を達成。要望と対応状況については、10 件対応済み。継続検討中の案件として、駐車場の混雑緩和について、令和 8 年度の施設改善計画に反映しながら順次対応する。

その他

- ・議事録を作成した後、各委員に送付。次回、第 2 回スポーツ施設運営委員会にて各委員の事業評価をもとに審議し、スポーツ施設運営委員会として評価をとりまとめていただく。事業評価については、スポーツ運営委員会評価シートをベースに評価を行う。

以上